

IV 保健対策

保 健 対 策 課

保健対策課は専門的な対人保健サービスの提供と、保健医療を中心とした地域ネットワーク構築を役割として、感染症予防、結核予防、障害児（者）保健、障害児（者）歯科保健、難病対策、精神保健福祉等の事業を担当した。

1 感染症予防

最近の保健医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、総合的な対策を推進するため、平成18年12月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、平成19年4月1日（一部は6月1日）に施行された。

主な改正点は生物テロ防止の観点から病原体の管理体制の確立や、感染症をめぐる環境の変化から感染症類型の分類の見直し、また結核対策における見直しの必要性から結核予防法が廃止され「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「法」という。）に統合された点である。八王子市保健所では平成16年（当時は東京都八王子保健所）より感染症対策専門の担当を設置し、最新の感染症動向を踏まえた対策を実施している。

(1) 感染症予防

感染症発生時には法に基づいた疫学調査（法第15条）や健康診断（法第17条）等を行い、感染拡大防止や二次感染予防、感染症に対する普及啓発等を行った。また、平常時から、感染症発生動向調査事業や小児感染症サーベイランス事業により、感染症の発生状況を迅速に収集し、医療機関等に情報を発信し、感染症の流行時等には、必要に応じ学校等への周知とともにホームページや広報などで市民への注意喚起を行った。

ア 感染症届出状況

法12条に基づく八王子市内の医療機関からの平成19年度届出件数は180件であった。

感染症発生件数（表1-1）

年度	分類 総数	疾患名																						
		一類				二類				三類				五類										
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう（天然痘）	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ（H5N1）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	後天性免疫不全症候群	梅毒	風しん	麻しん
19	180									110					2	26			7	3	9	3	4	16

（注）四類、五類については、届出のあった疾患のみ記載（麻しん、風しんは平成20年1月1日より全数届出）

イ 感染症の診査に関する協議会

法に基づき、勧告による入院の期間の延長、就業制限、結核患者の医療費公費負担について、保健所に設置された「感染症の診査に関する協議会」で必要な事項を審議させ、その意見を聞くこととされている。平成19年度は49回開催した。

協議会開催状況（表1-2）

区 分	定例協議会	緊急協議会
開催回数	24回	25回

注 定例協議会は原則第2、第4金曜日に開催

ウ 積極的疫学調査

感染症発生時、法第15条に基づく積極的疫学調査を行い、感染経路の特定や二次感染の予防に努めた。また、必要時には調査の一環として検便（ノロウイルス）も行った。

積極的疫学調査実施状況（表1-3）

	麻しん	ノロウイルス	赤痢	腸管出血性大腸菌	結核	疥癬	レジオネラ	その他	計
高齢者施設	—	12	—	—	1	1	—	—	14
障害者施設	1	3	—	—	—	1	—	—	5
学校	72	6	—	—	1	—	—	—	79
保育園	16	4	—	2	—	—	—	3	25
病院	1	7	—	—	19	—	1	—	28
その他	6	1	—	—	9	—	—	—	16
小計	96	33	—	2	30	2	1	3	167
個人	81	—	2	25	85	—	—	1	194
合計	177	33	2	27	115	2	1	4	361

エ 健康診断

感染症発生時に、法第17条に基づき、患者・関係者に対し健康診断を実施した。

（結核に関するものはP65に掲載）

検便実施状況（表1-4）

区 分	検査件数	陽性者総数	内 訳
			大腸菌出血性感染症
総数	289	20	20
病後経過者	74	6	6
患者関係者	215	14	14

オ 施設調査

平常時における感染症予防対策の充実を図ることを目的とし、集団生活が行われている施設の感染症対策の実態を把握するため、市内の障害者福祉施設（32施設）に対して調査票記入による現状調査と、訪問調査を実施し、あわせて予防対策及び発生時の拡大防止対策の普及啓発を行った。

カ 八王子市小児感染症サーベイランス事業

八王子市における小児感染症にかかわる情報を迅速に収集・分析・発信し、小児感染症の蔓延を防止するために、感染症発生動向調査事業の定点である4医療機関に市独自の9医療機関を加えた市内の小児科13医療機関の協力により、毎週報告を集約しホームページで情報を発信している。

キ 感染症予防連絡会

八王子市内の感染症予防対策を推進し、市関係部署、関係機関の情報連絡体制の確立と連携の強化を図るため、感染症予防連絡会を開催している。（平成19年度は年2回開催）

ク 健康教育

感染症の発生予防と蔓延防止対策を普及啓発するため、健康教育を実施している。

感染症健康教育実施状況（表1-5）（結核とH I Vに関するものは別途記載）

実施日	テーマ	対象	参加人数
H19. 4. 9	感染性胃腸炎予防講演会	高齢者福祉施設	70
H19. 5. 17	麻しんについて	小学校（養護教諭）	72
H19. 6. 25	感染性胃腸炎予防講演会	病院	135
H19. 10. 16	感染症予防講習会	小中学校	39
H19. 10. 30	感染症の予防と対策	飲食店	250
H19. 11. 1	感染症予防講習会	保育園・幼稚園	54
H19. 11. 15	感染症予防講習会	高齢者福祉施設・療養型病院	38
H19. 11. 16	院内感染防止対策	病院	25
H19. 12. 5	腸管出血性大腸菌感染症説明会	保育園・保護者	20
H20. 1. 21	感染症の予防と対策	理容業者	107
H20. 2. 25	新型インフルエンザ講演会	市職員	150
H20. 3. 28	陰圧テント設営訓練	市職員	40

ケ インフルエンザ様疾患調査

国の通知に基づき、保健所管内にてその年初めて臨時休業（インフルエンザ様疾患によ学級閉鎖等）があった場合には、その学校に在籍する児童・生徒のインフルエンザ疾患調査（うがい液検査）を行っている。19年度は12月4日、みなみ野君田小学校に対して調査を行った。

集団かぜによる学級閉鎖状況（延べ数）（表1-6）

年度	区分	総数	11月	12月	1月	2月	3月
18年度	学校数	122	—	—	10	38	74
	学級数	209	—	—	15	70	124
19年度	学校数	35	—	13	11	10	1
	学級数	72	—	34	18	19	1

コ 肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルス検査、相談及び陽性者への保健指導

過去に検査を受けたことがなく、基本健診の対象外でかつ職場等でも検査を受ける機会のない市民を対象に、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス検査を市内医療機関に委託して行うとともに、陽性者（老人保健法による健診対象者を含む。）に対しては、治療勧奨、肝炎手帳の配付、医療費助成の案内等、保健指導を行った。また、ウイルス肝炎に関し健康不安を抱える市民などからの相談を受け、検診の勧奨や正しい知識の普及等に努めた。

ウイルス肝炎検査実施状況（表1-7）

単位（人）

検査			陽性者			陽性者への保健指導			相談
計	B型	C型	計	B型	C型	計	B型	C型	
1,851	916	935	8	2	6	17	6	11	1,416

(2) エイズ対策

エイズ予防のための知識の普及とHIV感染に対する不安、悩み等の解決を図るため、医師、保健師による相談（電話・来所）及び抗体検査を行った。HIV迅速検査は、平成17年10月から開始し、月1回（第1水曜日）に通常の抗体検査と併せて実施している。

エイズ抗体検査時、希望者には併せて、梅毒、クラミジア感染症、淋菌感染症の性感染症の検査も実施した。

健康教育については若い世代と男性同性愛者への啓発活動を重点項目とし、エイズピアエデュケーションを行った。エイズピアエデュケーターの養成講座は14回実施し、30名のエデュケーターを養成した。

ア エイズ相談・HIV抗体検査実施状況（表1-8）

年度	相談									HIV抗体検査			性感染症検査								
	総数			電話			来所						梅毒血清検査			クラミジア抗体検査			淋菌検査		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
18年度	3,581	2,265	1,316	558	392	166	3,023	1,873	1,150	1,480 (357)	904	576	1,291	762	529	1,250	729	521	574	351	223
19年度	4,082	2,530	1,552	538	381	157	3,544	2,149	1,395	1,609 (578)	1,005	604	1,323	839	484	1,318	836	482	609	383	226

（注）（ ）内は迅速検査実施分

イ エイズ健康教育実施状況（表1-9）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人員
19年 4月～2月 16回	H I V / A I D S ピアエドゥケーター養成講座	保健師	学生	170人
19年 5月 13日	学生天国	保健師、 エドゥケーター 20名	学生天国来場者	500人
19年 6月 23日	エイズ・ピア・エドゥケーション サマーセミナー	ピアエドゥケーター 11名	学生	20人
19年 7月 5日	H I V / A I D S ・ 性感染症の正 しい理解のために	保健師・エイズピア エドゥケーター	多摩職業能力開発セン ター八王子校生徒	64人
19年 10月20日	大学祭	保健師、 エドゥケーター 14名	学生	500人
19年10月23日	大学健康週間	保健師、 エドゥケーター 8名	学生	200人
19年11月21日	結核・H I V / A I D S ってどん な病気？	エイズ予防財団会長 島尾忠男先生	学校関係者	45人
19年12月 6日	性に関する保健室の対応を考える	東京武蔵病院 林直樹先生 他2名	学校関係者	33人

(3) 結核対策

結核の予防、早期発見、再発防止並びに感染拡大防止を図るため、患者に対する登録必要時・入院の勧告及び就業制限・療養支援・治療終了後の管理検診、家族・接触者に対する検診・保健指導を実施した。また、医療費について公費負担事務を行った。平成16年10月から治療完了支援として、D O T S (Directly Observed Therapy Short-course 直接監視下短期化学療法) 事業を行っている。

ア 結核登録者状況

年末現在登録者数（活動性分類、受療別）（表1-10）

（平成19年12月31日現在）

区分	登録患者数												初感染結核 (別掲)		
	登録者 総数	活動性結核										不活動性結核			活動性不明
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性							
			喀痰塗沫陽性			その他の 結核菌陽性	菌陰性 その他								
総数	初回治療	再治療	治療中	観察中											
医療 形態	18年総数	265	98	85	42	40	2	23	20	13	140	27	7	8	
	19年総数	270	84	69	33	30	3	26	10	15	138	48	10	5	
	入院中	30	30	25	19	18	1	5	1	5	—	—	—	—	
	外来治療中	51	51	43	14	12	2	21	8	8	—	—	9	—	
	治療なし	175	—	—	—	—	—	—	—	—	138	37	—	5	
	不明	14	3	1	—	—	—	—	1	2	—	11	1	—	

年末現在登録者数（活動性分類、年齢階級別）（表1-11）

（平成19年12月31日現在）

区分	登録患者数											初感染結核 (別掲)	
	登録者総数	活動性結核											
		総数	肺結核活動性							肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	
			総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他					
				総数	治療初回	再治療							
治療中	観察中												
18年総数	265	98	85	42	40	2	23	20	13	140	27	7	8
19年総数	270	84	69	33	30	3	26	10	15	138	48	10	5
～4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
5～9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
10～14	1	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2
15～19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
20～29	23	7	7	5	4	1	1	1	—	11	5	2	—
30～39	35	9	8	5	5	—	2	1	1	21	5	3	1
40～49	40	13	10	1	1	—	5	4	3	19	8	2	—
50～59	46	15	15	5	5	—	8	2	—	22	9	1	—
60～69	49	16	13	7	6	1	4	2	3	22	11	1	—
70～	76	23	16	10	9	1	6	—	7	43	10	—	—

新登録患者数（活動性分類、受療別）（表1-12）

（平成19年1月1日～12月31日）

区分	登録患者数									初感染結核 (別掲)	非定型抗酸菌 (別掲)
	登録者総数	活動性結核									
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性		
			総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他			
				総数	初回治療	再治療					
医療形態	18年総数	115	92	47	45	2	25	20	23	9	1
	19年総数	89	72	33	30	3	28	11	17	10	—
	入院中	51	42	33	30	3	6	3	9	—	—
	外来治療中	38	30	—	—	—	22	8	8	10	—
	治療なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

新登録患者数（活動性分類、年齢階級別）（表1-13）

（平成19年1月1日～12月31日）

区 分	登 録 患 者 数								初 感 染 結 核 (別掲)	非 定 型 抗 酸 菌 (別掲)	陽 性 (別掲)
	登 録 者 総 数	活 動 性 結 核									
		肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性			
		総 数	喀 痰 塗 沫 陽 性			そ の 他 の	結 核 菌 陽 性				
総 数	初 回 治 療		再 治 療								
18年総数	115	92	47	45	2	25	20	23	9	1	
19年総数	89	72	33	30	3	28	11	17	10	-	
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
10～14	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
15～19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20～29	7	7	4	3	1	1	2	-	1	-	
30～39	13	10	6	6	-	2	2	3	3	-	
40～49	9	7	-	-	-	3	4	2	3	-	
50～59	15	14	4	4	-	9	1	1	-	-	
60～69	12	8	4	3	1	2	2	4	1	-	
70～	32	26	15	14	1	11	-	6	-	-	

結核検診実施状況（表1-14）

区 分	検 査 内 容						結核有所見				
	総 数	反 応 検 査	ツ ン ル ク	Q F T	間 接 撮 影	エ ッ ク ス	直 接 撮 影	エ ッ ク ス	喀 痰 検 査	結 核 患 者	要 観 察 者
18年度総数	2,896	51	-	-	228	2,614	3	2	3	2	3
19年度総数	2,763	13	170	194	2,385	-	-	1	8	1	8
接触者検診	856	13	170	-	673	1	-	1	8	1	8
患者家族 接触者	235	4	29	-	202	-	-	1	2	1	2
管理検診	621	9	141	-	471	-	-	-	6	-	6
管理検診	35	-	-	-	34	1	-	-	-	-	-
結核対策特別促進事業	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-
受託検診	1,665	-	-	164	1,501	-	-	-	-	-	-
特定施設従事者検診	107	-	-	30	77	-	-	-	-	-	-

イ 結核患者に対する医療

感染症の診査に関する協議会において、結核医療の適否について診査を行った。この結果、承認された者に対して、医療費公費負担を実施した。

結核医療費関係公費負担診査状況（表1-15）

区 分	一般患者（37条の2）			入院患者（37条）		
	申請	承認	不承認	申請	承認	不承認
18年度総数	144	141	3	57	54	3
19年度総数	189	185	4	116	115	1
初 回	103	102	1	46	46	0
継続再発	86	83	3	70	69	1

ウ 結核地域DOTS事業支援状況（平成16年10月開始）（表1-16）

区分	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	計
17年度	5	4	118	127
18年度	9	4	137	150
19年度	5	11	115	131

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者 ・保健所来所、保健師その他関係者の自宅訪問、調剤薬局等でほぼ毎日服薬確認

Bタイプ：服薬支援が必要な患者・保健所の来所または調剤薬局等で服薬確認

Cタイプ：A、Bタイプ以外の患者・電話・手紙・調剤薬局等で服薬確認

エ 結核健康教育実施状況（表1-17）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人数
19年6月25日	結核の基礎知識と感染予防対策	医師・保健師	介護用介護関連事業者	50
19年 10月10日	地域で結核支援の輪を広げるために	保健師	薬剤師	23
19年 11月21日	結核の正しい理解のために	医師	養護護諭・学生 大学等看護職	45
19年11月16日	院内における結核感染予防対策	医師、保健師	医療機関	25
19年8月31日	結核接触者説明会	医師、保健師	会社関係者	50
20年 3月13日	結核コホート検討会	医師、保健師	保健所職員	6

2 受託検診

健康診断を受ける機会の少ない、心身障害者、福祉作業所の通所者等に対して行った。

また、保健所に来所できない老人福祉施設については、検診車で検診を行った。

受託検診（障害者施設等）実施状況（表2-1）

年 度	実施回数	総 数	エックス線	
			間接撮影者数	直接撮影者数
17 年 度	31	1,791	922	869
18 年 度	45	1,648	191	1,457
19 年 度	42	1,665	164	1,501

3 障害児等支援

(1) 療育相談事業

身体の機能に障害のある児童や疾病のため長期にわたる療養を必要とする児童に対し療養上の相談や指導等の支援を行っている。

平成19年度から自立支援医療（育成医療）や小児慢性疾患の医療費助成の申請・受理を保健所で実施し、必要に応じ相談を実施している。

ア 療育相談事業

保健師による家庭訪問や面接相談を行い、療養上の相談に応じている。

また、東京都で実施している「在宅重症心身障害児（者）訪問事業」の申請・経由の窓口であり、必要に応じて社会資源の紹介、関係機関調整などを実施している。

(表3-1)

年度	区 分	家庭訪問 (延べ)	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
19年度	心身障害児	49	7	63	13	92
	(再掲) 重症心身障害児 (者)	(49)	(4)	(56)	(13)	(90)
	長期療養児	3	3	40	5	4

イ 講演会

(表3-2)

開催日	会場	内 容	参加人数
19年8月30日	保健所	「飲み込みや食べさせ方の工夫」 講師 島田療育センター ST 赤荻芙美子氏	17
20年2月4日	保健所	「発達障害の理解と対応」 ～発達障害者支援センターの相談から見えてくるもの～ 講師 発達障害者支援センター 島野雅子氏	46

ウ 障害児グループ支援

昭和61年から開催していた「ダウン症児を持つ親子の会（ひよこの会）」が、平成14年度から準備期間を経て、平成16年度に自主グループとなった。保健所は、会場提供、企画の相談、代表者のサポートなどの支援を継続実施している。

(表3-3)

会 場	開催回数	参加数(延数)	内 容
保 健 所	年間14回	親 199 子 163 他 39 計401	リトミック、歯科相談、自主講演会 先輩ママの話、情報交換、クリスマス会、誕生会、 ※ 定例会の他に自主講演会2回の会場提供。

※ 他：ボランティア、学生等を含む

エ 在宅重症心身障害児（者）訪問事業

(表 3-4)

年 度	対象者数	訪問件数	所内相談	電話相談	その他の相談
19 年 度	17	49	4	56	13

オ 在宅重症心身障害児（者）訪問事業関係機関連絡

(表 3-5)

年 度	保健関係	医療関係	福祉関係	その他
19 年 度	7	55	18	10

東京都が事業委託している「西部訪問看護事業部」との全体連絡会及び、個別ケースカンファレンスを平成19年度は25回実施した。

4 歯科保健

歯や口の健康を保つことは、単に食物を咀嚼することにとどまらず、食事や会話を楽しむなど豊かな人生を送るための基礎となる。むし歯や歯周病予防は、日常生活習慣の改善や自己管理能力の向上が重要である。そのため、各種研修会など、あらゆる機会を利用して、普及啓発に努めた。

また、歯科保健サービスを受ける機会の少ない障害者を対象に、障害者歯科保健推進事業を実施し、障害者の日常生活に根ざした歯科保健医療の環境づくりを推進した。

(1) 障害者歯科保健推進事業

ア 障害者歯科相談

(ア) 歯科保健指導

受託検診受診者を対象に歯みがきの自立や口腔の健康保持・増進を目指して、歯科保健指導を行った。また、施設や家庭で歯みがきや歯科受診への支援をしてもらうため、後日施設職員へ指導や健診の結果返しを行った。

(イ) 訪問歯科保健指導

在宅障害者、難病患者等に訪問指導を行った。

障害者歯科保健指導（表 4-1）

種 別	障害者歯科保健指導									事後指導		訪問歯科保健指導						
	対 象		実施施設数	実施人数	障害児	心身障害者	精神障害者	難病患者等	保健所内	保健所外	経過視察		実施回数	実施人数	延べ人員	障害児	難病患者	その他
	施設数	入所者数									実施回数	実施人数						
17 年 度	51	1,136	27	331	11	314	6	—	19	—	—	—	1	1	1	—	1	—
18 年 度	51	1,136	24	338	—	338	—	—	16	—	—	—	4	3	4	—	4	—
19 年 度	50	742	35	479	—	479	—	—	41	10	—	—	17	11	17	—	17	—

イ 講習会開催状況

障害者施設職員等にサポートシートを活用した講習会を実施し、歯みがき支援の必要性を伝えた。

講習会開催状況（表４－２）

開催施設数	実施回数	内 容	参加人数
7	7	口腔ケア・摂食嚥下	103

(2) 歯科保健普及事業

各種歯科保健活動の支援

ア 保育所・幼稚園の歯科保健に対する取組状況を把握し支援するため、歯科健診結果等を収集し、分析した。

イ 保育所・幼稚園の歯科保健活動の充実のため担当職員を対象に研修会を開催した。

ウ 市内在住・在勤の方を対象に「地域歯科口腔保健研修会」を開催し、普及を図った。

歯科保健普及対策状況（表４－３）

区 分	内 容	実施回数	参加人数
歯科保健活動支援	保育園・幼稚園歯科保健研修会 「手づかみ食べ」 昭和大学歯学部歯科医師 岩間 一実	1	69

(3) 電話・来所相談

相談状況（表４－４）

計	来 所	電 話
23	2	21

5 環境公害保健

(1) 光化学スモッグ被害対策

八王子市保健所は、光化学スモッグ注意報又は警報発令時における市民への情報提供を担当するとともに、光化学スモッグによると思われる健康被害の届出を受け、被害状況の把握及び必要に応じて現地調査を行った。なお、平成19年度の光化学スモッグによる健康被害の届出件数は0件であった。

(2) 大気汚染障害者認定審査会

大気汚染に係る健康障害者の医療費助成を行うため、認定審査会を設置し、月1回審査を行った。

八王子市民の認定件数は、平成20年3月末現在2,328件であった。

平成19年度大気汚染医療費助成申請件数（表５－１）

区 分	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	
八王子保健所	新規	340	53	33	28	12	13	20	19	19	15	22	46	60
	更新	887	60	67	50	67	96	84	73	64	58	102	99	67

(3) アレルギー講演会

アレルギー性疾患及び療養に関する知識・技術の普及を行うため講演会を開催した。

(表5-2)

開催日	実施場所	内 容	参加人数
19年11月28日	保 健 所	講演会「子どものアトピー性皮膚炎」 －食物との関係－ 京王八王子クリニック 末松隆子 医師 環境整備、食品表示、バランスガイドなどの情報提供	60名

6 特殊疾病対策

特殊疾病の患者・家族は、疾病の特殊性から医療面・経済面・介護面などに種々の問題をかかえ、長期の療養生活を余儀なくされている。

保健所では医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等の地域の関係機関とのネットワークの充実をはかりながら、患者・家族の医療や療養生活に関する問題に対し支援を行なっている。

平成19年度から難病医療費助成の申請窓口が保健所に移り、早期の相談対応が可能になった。

(1) 特殊疾病対策事業訪問相談

特殊疾病対策事業訪問等相談実施状況 (表6-1)

区 分	総 数	家庭訪問	所内相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
18 年 度	1,675	307	119	630	102	517
19 年 度	1,853	369	344	402	118	620
保健師	1,773	314	344	393	118	604
理学療法士	40	40	—	—	—	—
栄養士	1	—	—	1	—	—
歯科衛生士	39	15	—	8	—	16

(2) 難病講演会

難病講演会実施状況 (表6-2)

開催日	内 容	参加人員
19年9月19日	「パーキンソン病の最新治療」 講師 都立神経病院 医師	51
11月15日	「口腔ケアと摂食嚥下支援」 講師 保健所 歯科衛生士	21
20年2月21日	「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の理解」 講師 八王子医療センター 医師	61

(3) 患者会支援育成

平成19年度は喜楽会・さわやか会（パーキンソン病・神経難病患者交流会）、八王子にじの会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の療養者・家族の会）、あいの会八王子（網膜色素変性症の療養者・家族）、八王子を中心に活動している患者会3団体を支援した。

患者会開催状況（表6-3）

年度	回数	参加延人員
18年度	29	636
19年度	25	499

(4) 医療機器貸与及び訪問看護

近年は気管切開、人工呼吸器装着の状態在宅療養を希望する事例がまれではなくなっており、これにともない吸引器・吸入器の貸与を希望する人も多い。東京都で実施している医療機器貸与事業を利用している方に対し、訪問看護ステーションによるサービスだけでは不足する場合に訪問看護師を派遣した。これらの制度を活用している事例では多機関多職種の支援を得て在宅療養をしているため、保健師が在宅療養に係る関係機関の連絡調整を行い、患者・家族の安定した療養環境の整備に努めている。

医療機器貸与実施状況（表6-4）

年度	貸与患者数	訪問看護 導入患者数	機器貸与件数		訪問看護実績
			吸引器	吸入器	
18年度	50	17	47	34	542
19年度	41	16	35	26	475

(5) 在宅療養支援地域ネットワーク事業

難病の地域ケア・ネットワークづくりをめざして「難病保健医療福祉調整会議」及びその下部組織として、難病実務者会議を設置した。医師会、障害者福祉・介護保険の担当部署、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、及び医療機関等の関係機関の実務者により構成する会議を開催し、研修や事例検討、情報交換などを通して地域の課題を検討する場とした。

在宅療養支援ネットワーク事業実施状況（表6-5）

開催日	会議名	内容
19年9月13日	実務者会議（研修会）	「神経難病療養者の嚥下と口腔ケア」 23人
19年12月10日	実務者会議（研修会）	①「神経難病の在宅療養を支えるケアコーディネーション」88人 ②難病対策事業の概況説明
20年2月26日	難病保健医療福祉調整会議	訪問看護ステーションのアンケート調査の結果報告

(6) 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症難病療養者対策の一つとして要支援者に対する各種サービスの適切な提供をはじめ個々の病状や介護力に応じたきめの細かな支援を行うために、在宅療養支援計画策定・評価事業を実施した。

19年度は6回26ケースを実施した。

なお、評価委員会は保健対策課長をはじめとする保健所職員のほか、アドバイザーとして東京都神経科学総合研究所職員の協力を得て実施している。

(7) 緊急一時入院事業

東京都の緊急一時入院事業を利用し家族の介護疲れや病气入院等により、介護が困難になったとき、患者本人を一時的に入院させることができる病床を確保して、安定した在宅療養が継続できるよう申請受理・調整を行った。

緊急一時入院制度利用状況（表 6 - 6）

年 度	利用者延数	利用延日数
18 年 度	4	90
19 年 度	8	190

7 精神保健福祉

平成19年度から保健所政令市となり、東京都保健所と同じ機能を八王子市保健所に引き継いでいる保健所は、精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害の早期発見・早期治療の促進及び精神障害者の社会復帰・社会参加を援助するため、相談、訪問指導、精神保健福祉に関する教育、広報活動、患者・家族等の組織育成等の事業を行っている。

なお、障害者福祉課の自立支援医療や相談との関係など、保健所と障害者福祉課の役割や機能分担、連携についても今後検討していく必要がある。

(1) 地域精神保健福祉連絡協議会及び専門部会の設置

精神障害に対する地域ケアの充実と地域住民の心の健康の保持増進を総合的かつ効果的に進めることを目的に、地域の関係機関の代表者による協議機関として昭和61年から設置していた八王子保健所地域精神保健福祉連絡協議会を引継ぎ、八王子市地域精神保健福祉連絡協議会として設置した。

また、具体的な課題について協議・検討するため、下部機関として、関係機関の実務担当者による「専門部会」についても同様に設置した。

専門部会主催で開催する「八王子精神保健福祉講座」は平成12年から、市内の関係機関が精神障害者の理解を深め、相互の連携構築を目的に、引き続き実施している。

地域精神保健福祉連絡協議会（表 7 - 1）

開 催 日	内 容
20年2月27日	① 八王子市地域精神保健福祉連絡協議会の設置 ② 八王子市地域精神保健福祉連絡協議会専門部会報告 ③ 八王子市障害者福祉課事業実績報告及び19年度事業について ④ 八王子市障害者福祉課事業実績報告及び19年度八王子市保健所保健対策課事業について ⑤ 八王子市における精神障害退院促進支援について

地域精神保健福祉連絡協議会専門部会（表 7 - 2）

開 催 日	内 容
19年10月29日	平成19年度専門部会実施計画について ① 平成19年度専門部会世話人会報告 ② 第8回八王子精神保健福祉講座について ③ 八王子地域生活資源マップより良い暮らしのために一改訂版作成について

(2) 精神保健福祉相談

地域住民に対して精神疾患に関する診断や対応方法等について、専門医等による一般精神保健福祉相談（月2回）、老人精神保健相談（隔月1回）、酒害相談（隔月1回）及び思春期相談（月1回）を実施した。保健師による家庭訪問、来所面談、電話相談等は随時実施している。

精神保健福祉相談・訪問指導（専門医による）（表7-3）

年 度	精神保健福祉相談							精神保健福祉訪問指導							
	実施回数	実人員	延人員	内 訳				実施回数	実人員	延人員	内 訳				
				老人精神保健	アルコール	思春期	一般精神保健				老人精神保健	アルコール	思春期	一般精神保健	その他
18年度	47	108	116	19	9	33	55	1	2	2	—	—	—	2	—
19年度	46	109	122	21	11	37	53	4	3	4				4	

精神保健福祉相談・訪問指導（表7-4）

年 度	精神保健福祉相談								精神保健福祉訪問指導							
	延人員	内 訳						実人員	延人員	内 訳						
		社会復帰	老人精神保健	アルコール	思春期	心の健康 づくり	その他			社会復帰	老人精神保健	アルコール	思春期	心の健康 づくり	その他	
18年度	4,871	412	184	229	379	72	3,595	878	412	17	26	18	26	17	308	
19年度	4,819	294	217	308	371	76	3,553	984	462	14	20	28	11	13	376	

未治療・治療中断患者等地域支援事業（困難事例検討会）

保健師が地区活動を実施している対象者で、多問題で対応が困難な未治療・治療中断事例を東京都多摩総合精神保健福祉センターの医師や職員をスーパーバイザーとして事例検討し課題解決につなげている。平成19年度は12回実施した。

(3) 精神保健福祉法に基づく医療保護入院

精神保健福祉指定医に精神障害があると診断され、かつ医療及び保護のため、入院の必要があると認められた場合、本人の同意がなくても、保護者の同意があれば、入院（医療保護入院）させることができる。当所に報告された管内の精神病院（15か所）が扱った医療保護入院数は表のとおりである。

医療保護入院届出数（法第33条第1項）（表7-5）

年 度	管内 総計	症状性を含む 器質性精神障 害			精神作用物質使用に よる精神及び行動の 障害				統合失調症・分裂型障害 及び妄想性障害	気分（感情）障害	神経症性障害	ストレス関連障害等	成人の人格 行動の障害	精神遅滞	その他の精神障害	てんかん	その他
		小計	認知症	認知症以外	小計	アルコール使用	覚せい剤	その他の使用									
18年度	1,112	359	320	39	75	59	8	8	487	128	17	13	28	—	5	—	
19年度	1,300	476	400	76	71	56	7	8	548	117	23	18	37	—	10	—	

(4) 警察官通報等による保護の申請、通報の受理

警察官等は、精神障害のために自傷他害のおそれがある者を発見したときは、直ちに、もよりの保健所長を経由して知事に通報することになっている。

精神保健法に基づく診察及び保護の申請または通報受理数（表7-6）

年度	管内総数	内 訳					
		第23条 (一般人の申請)	第24条 (警察官の通報)	第25条 (検察官の通報)	第25条の2 (保護観察所長の通報)	第26条 (矯正施設長の通報)	第26条の2 (精神病院管理者の届出)
18年度	79	—	79	—	—	—	—
19年度	66	1	65	—	—	—	—

(5) 精神障害者社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）

回復途上の精神障害者がスポーツ、創作、料理、ミーティング、屋外活動等の集団生活指導を通じて、社会生活の適応と対人関係の改善を図ることを目的として、保健所で月3回行っている。

また、グループワークの他、個別相談会を年3回、スタッフミーティングを年8回実施することにより個別のアセスメントを行い、ステップアップを図った。また、家族懇談会も年2回開催し、病気の理解を深めるとともに、家族にグループ活動を理解してもらう場となった。

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）実施状況（表7-7）

年 度	実施回数	参 加 者 数	
		実参加者（人）	延べ参加者（人）
18 年 度	37	23	472
19 年 度	37	19	444

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）参加者の動向（表7-8）

年 度	区 分	総 数	就職(学)	家庭内適応	他部門	中 断	継 続	その他	男女計
18年度	男	11	2	1	1	1	6	—	23
	女	12	—	2	—	—	10	—	
19年度	男	8	2	—	1	—	5	—	19
	女	11	1	—	1	—	8	1	

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）事例検討会

個別アセスメントグループのグループワーカー、作業所職員、東京都多摩総合精神保健福祉センター職員、保健師等で利用しているメンバーの事例検討会を平成19年度は5回実施した。

(6) 思春期の課題を抱える家族グループ

社会的引きこもり等の課題を抱える家族を対象に、家族がより良い対応やコミュニケーションの工夫を学び、「引きこもり」等の理解と回復を目的とする、親のためのグループワークを実施（月1回開催）している。

思春期の課題を抱える家族グループ実施状況（表7-9）

年度	実施回数	参加者数	
		実参加者(人)	延参加者(人)
18年度	12	19	76
19年度	12	19	87

(7) 社会復帰施設

市内には、下記のような施設があり、必要に応じて連携している。

社会復帰施設一覧（表7-10）

区分	施設名	住所	電話	開設年月	運営団体	定員
小規模授産施設	ピアわかくさ	八王子市横山町20-19 橋本ビル2F	631-9404	昭和58年9月	社会福祉法人マインド はちおうじ	15名以上
小規模授産施設	富士森の家	八王子市長房町719 都営長房北アパート69	668-8015	昭和60年2月	社会福祉法人マインド はちおうじ	15名以上
小規模授産施設	リサイクルわかくさ	八王子市日吉町13-30	624-9671	昭和62年4月	わかくさ福祉会	15名以上
小規模授産施設	ビーイングスペース萌	八王子市子安町3-30 -18 エンリッチビル1F	660-5882	昭和63年4月	わかくさ福祉会	15名以上
共同作業所	就労情報センタージネス	八王子市平岡町4-2	628-2707	平成5年4月	わかくさ福祉会	15名以上
共同作業所	パオ	八王子市田町4-4	655-2844	平成6年4月	運営委員会	10名以上
共同作業所	ほっとスペース八王子	八王子市八幡町13-12 ふくしまやビル2F	628-2319	平成7年4月	運営委員会	15名以上
共同作業所	パオツー・夢来	八王子市別所1-3-18	674-5994	平成11年10月	運営委員会	6名以上
共同作業所	プレワーク	八王子市平岡町4-2	620-0086	平成11年10月	わかくさ福祉会	6名以上
生活訓練施設	さくらハイツ	八王子市宮下町 117-26	691-5915	平成7年4月	医療法人社団愛成会	20名
生活訓練施設	川口ハイツ	八王子市川口町3562	654-8555	平成8年7月	医療法人社団明和会	20名
グループホーム	美山ヒルズ第1, 第2	八王子市横川町960	622-4226	昭和63年7月	医療法人社団光生会	8名
グループホーム	多摩ハイツ第1, 第2	八王子市中野町2088	621-7080	平成10年3月	医療法人社団緑雲会	10名
グループホーム	ハウスコム	八王子市散田町 3-15-23-405	668-3772	平成5年7月	わかくさ福祉会	5名
グループホーム	メゾンコム	八王子市明神町2-3-12 第3角田ビル101	656-2689	平成7年4月	わかくさ福祉会	5名
グループホーム	カーサコム	八王子市明神町2-3-12 第3角田ビル105	656-2698	平成7年4月	わかくさ福祉会	5名
地域活動支援センター	あくせす	八王子市新町9-11 ポニーヒル102	631-1022	平成12年10月	わかくさ福祉会	-
共同作業所	オープンスペース本郷町	八王子市本郷町25-2 臼井ビル202	622-9180	平成3年4月	わかくさ福祉会	-
共同作業所	アイワークス	八王子市小比企町480-1 サニーヒルいそま207	636-9993	平成18年10月	わかくさ福祉会	15名以上
グループホーム・ケアホーム	あるが壮	八王子市裏高尾町393-2	663-9171	平成19年9月	特定非営利活動法人あるが	4名

(8) 地区組織の育成及び講演会

病院等の関係機関との連携を図りながら、地域や事業所からの要望をふまえ、精神保健福祉関連の講演会を実施している。

精神保健福祉講演会等開催状況（表7-11）

開催日	対象	テーマ・講師	参加人数
19年8月22日	学校関係者、民生児童委員、家庭支援センター等	講演会「子どものトラウマと心のケア」 日本ストレスケア研究所 所長 松浦正一氏	54
9月11日	一般市民	講演会「暴力・暴言・ひきこもり等ある子どもとのコミュニケーション」 原宿カウンセリングセンター 臨床心理士 高橋郁絵氏	26
9月18日	一般市民	講演会「うつ病の理解と対応」 根岸病院 医師 平 幸司氏	45
20年2月15日	家族グループ参加者等	講演会「ひきこもりと家族の対応」 愛知県立大学文学部社会福祉課 助教授 長谷川俊雄氏	14
3月13日	関係機関職員	講演会「人格障害の理解と対応」 都立多摩総合精神保健福祉センター 医師 向山晴子氏	51
3月18日	一般市民、関係機関職員	講演会（心の健康フェスティバル講演会） 「働き盛りのうつ病対策」 －企業が出来るうつ病対策－生産性向上と労働力充実のために－ 株式会社ロブ代表 前田一寿氏	155
3月24日	関係機関職員	講演会・グループディスカッション 第8回精神保健福祉講座「精神障害者の退院支援」 東京高尾病院 医療相談員 大谷 忍氏 訪問看護ステーション円 生活指導員 国重智宏氏 東京都精神保健・医療課 保健師 橋本雅美氏	43

(9) 家族会支援

精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のため、精神障害者の家族会、認知症高齢者家族会に会場提供や技術支援を行っている。

家族会開催状況（平成19年度）（表7-12）

区分	わかくさ家族の会	さーくる南	ふれあいの会
対象	八王子市の精神障害者を持つ家族	南大沢周辺の精神障害者を持つ家族	八王子市の認知症高齢者を持つ家族
保健所が支援した回数	6	1	4

(10) 心の健康フェスティバル

精神保健に関する知識の普及啓発を図り、地域住民の心の健康の保持増進を目指し、昭和62年度から「心の健康フェスティバル」を毎年開催した。

市内の精神病院・診療所や精神障害者社会復帰施設、家族会等と協働で企画運営することで、関係機関のネットワークづくりにも寄与した。平成14年度から実行委員会形式をとり、民生委員・ボランティアの参加協力があり参加機関数も増加した。平成19年度は年3回実行委員会を開催した。

心の健康フェスティバル実施状況（表7-13）

項目	開催日	内容	参加人数
心の健康フェスティバル	19年10月5日	作品展示・バザー・交流会・相談コーナー等。 参加協力機関 24団体(精神病院8・診療所1・社会復帰施設8・家族会2・民生委員・ボランティア団体2・八王子市社会福祉協議会・八王子市障害者福祉課・多摩総合精神保健福祉センター)	735

8 保健師活動

保健師活動は、地域住民の健康の保持増進、疾病の予防と早期発見・健康回復及び社会復帰への援助などを目的として、地域の保健需要に基づき、精神、難病、障害児等に対応する。具体的な活動内容は家庭訪問、健康相談、健康教育、関係機関との連絡調整、保健活動推進のための企画、運営への参画、保健・医療・福祉系学生への教育、実習指導及び研究活動などである。

(1) 専門的・広域的対人保健活動

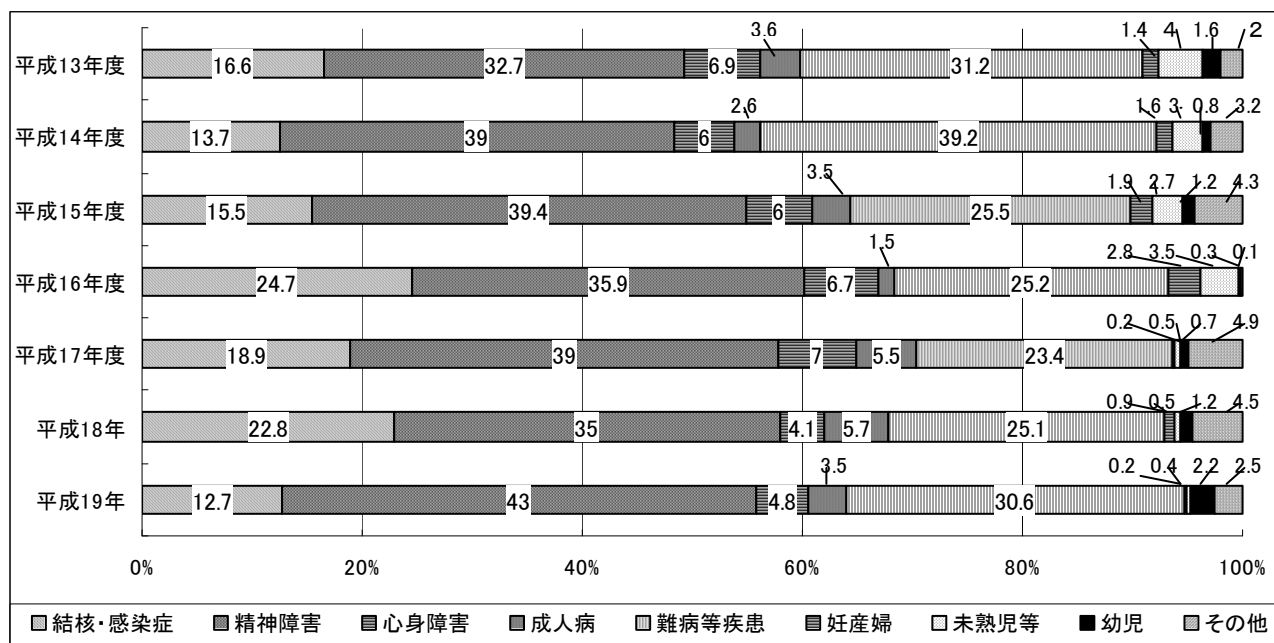
ア 保健指導体制

市内を8の地域に分割し地区担当保健師が対応している。また、処遇困難事例については業務担当リーダーと地区担当保健師が連携し複数で対応している。

イ 地区活動状況

保健師の家庭訪問対象の推移（平成13～19年度）（表8-1）

（単位名：％）



保健師活動状況（表8-2）

			感染症係			地域保健係											
年 度	区 分	総 数	感 染 症	結 核	エイ ズ	精 神 保 健 福 祉	心 身 障 害	生 活 習 慣 病	難 病	そ の 他 疾 患	妊 産 婦	乳 児	(再掲)			幼 児	そ の 他
													未 熟 児	新 生 児	一 般 乳 児		
18 年 度	家庭訪問	1,173	78	179	11	412	48	67	278	17	10	6	0	2	4	14	53
	所内相談	1,582	62	624	118	624	12	23	99	7	3	3	0	1	2	2	5
	電話相談	5,895	500	1,424	550	2,201	179	98	628	98	21	41	10	10	21	35	120
	文書その他の相談	1,064	161	415	41	318	13	4	102	2	2	4	1	0	3	1	1
	関係機関連絡	3,911	479	724	54	1,745	202	16	550	19	16	26	6	0	20	55	25
	合計	13,625	1,280	2,642	774	5,300	454	208	1,657	143	52	80	17	13	50	107	204
19 年 度	家庭訪問	1,074	1	126	9	462	52	38	314	15	2	4	0	0	4	24	27
	所内相談	1,573	211	245	148	537	10	37	344	17	2	4	1	0	3	4	14
	電話相談	8,350	1,813	2,138	873	2,361	103	133	393	75	29	34	0	4	30	42	356
	文書その他の相談	1,387	51	938	0	256	18	5	118	0	0	0	0	0	0	1	0
	関係機関連絡	4,232	1,254	587	2	1,665	92	6	604	5	8	6	0	0	6	1	2
	合計	16,616	3,330	4,034	1,032	5,281	275	219	1,773	112	41	48	1	4	43	72	399

※心身障害に重症心身障害児(者)及び長期療養児を含む

学会報告状況（表8-3）

学 会 名	係 名	演 題
東京都福祉保健医療学会	感染症担当	学生とともに取り組むエイズ・ピア・エデュケーション
日本公衆衛生学会	感染症担当	男性同姓愛者と共に考えるHIV/AIDS対策の取り組みについて
日本エイズ学会	感染症担当	男性同姓愛者と共に考えるHIV/AIDS対策の地域ネットワークづくり

(2) ヘルスプロモーションを推進するための活動

地域住民の健康の保持・増進を推進するため、セルフヘルプグループの育成・活動の支援を行った。

また、地域住民組織や関係団体等への支援を積極的に実施し、地域のネットワーク化に努めた。

地域住民・関係団体等への支援状況（表8-4）

区分	関係機関・団体	回数	参加人数	支援内容
セルフヘルプグループ	精神 精神障害者家族会	7	119	精神障害者家族の交流や自主グループとしての会の運営等への支援
	難病 難病患者・家族交流会	25	499	セルフヘルプグループ交流会
	母子 ひよこの会	14	401	セルフヘルプグループ交流会
関係機関支援	精神 八王子P S W研究会	12		連携会議
	地域生活支援センター	1		地域生活支援センター活動報告会
	障害者就労・生活支援センター	1		運営協議会
	八王子精神科看護師長会	3		精神科病院看護師長の連絡、連携、研修会
	多摩ハイツ入居支援会議	4		入居支援
	八王子市障害者計画策定作業部会	9		精神部会
	退院促進コーディネートケア会議	6		精神障害者の退院支援に関する検討
難病	医師会	4		医師会難病訪問診療調整委員会
	南多摩・八王子保健所管内看護師長会	4		医療機関看護師長連絡、連携、研修会
地域	地域包括支援センター連絡会	12		地域包括支援センターと高齢者支援課、その他関係機関との情報交換
	地域包括支援センターブロック会議	4		地域包括支援センター職員、民生委員、老人会その他との情報交換

研修及び健康教育実施状況（表8-5）

開催日	種別	内容	対象	参加人員
19年7月10日	精神	八王子市立児童館子ども支援研究会全体研修会 思春期の子ども心と体の発達（思春期の性）を考える	児童館職員	18
2月19日	精神	メンタルヘルス講習会	保育園職員・老人施設職員	90
20年1月31日	精神	八王子市保健所の精神保健福祉活動と社会適応訓練事業	社会復帰訓練事業所に来ている中学生	4
2月1日	精神	精神科認定看護師制度見学実習	精神科認定看護師実習生	1

(3) 関係機関との連携

ア 保健センターの育児不安を持つグループのカンファレンスに参加し支援した。

イ 南多摩保健所が二次保健医療圏内で進めている「うつ対策」「新型インフルエンザ対策」などに圏域内の保健所として連携・協力した。

9 検査実施状況（表9-1）

検査項目		18年度	19年度			
		総数	総数	内訳		
一般健康相談	受託検診			小規模企業検診		
総数		21,871	10745	—	10745	—
尿検査	小計	5,632	2888	—	2888	—
	蛋白	1,408	722	—	722	—
	糖	1,408	722	—	722	—
	ウロビリノーゲン	1,408	722	—	722	—
	潜血	1,408	722	—	722	—
	ケトン体	—	—	—	—	—
	沈渣	—	—	—	—	—
便検査	小計	—	—	—	—	—
	寄生虫卵	—	—	—	—	—
	便潜血	—	—	—	—	—
喀痰検査	小計	—	—	—	—	—
	結核菌塗沫	—	—	—	—	—
	結核菌培養	—	—	—	—	—
血液生化学的検査	小計	15,361	7788	—	7788	—
	白血球数	1,389	708	—	708	—
	赤血球数	1,389	708	—	708	—
	血色素	1,389	708	—	708	—
	ヘマトクリット	1,389	708	—	708	—
	血液像	—	—	—	—	—
	血沈	—	—	—	—	—
	全血比重	—	—	—	—	—
	血液型(ABO式)	—	—	—	—	—
	血液型(Rh式)	—	—	—	—	—
	GOT	1,394	708	—	708	—
	GPT	1,394	708	—	708	—
	γ-GTP	1,394	708	—	708	—
	ALP	1	—	—	—	—
	ZTT	—	—	—	—	—
	TTT	—	—	—	—	—
	LDH	—	—	—	—	—
	総蛋白	—	—	—	—	—
	コレステロール	1,394	708	—	708	—
	中性脂肪	1,394	708	—	708	—
	HDLコレステロール	1,394	708	—	708	—
	尿素窒素	—	—	—	—	—
	尿酸	44	—	—	—	—
	クレアチニン	1	—	—	—	—
	血糖	1,393	708	—	708	—
	血清鉄	—	—	—	—	—
	総鉄結合能	—	—	—	—	—
	ワッセルマン反応	1	—	—	—	—
	ヘモグロビン	1	—	—	—	—
		Atc	—	—	—	—
生理学検査	心電図	454	69	—	69	—
	オーディオ	424	—	—	—	—

10 エックス線検査

(1) エックス線検査実施状況

事業別エックス線検査実施数（表10-1）

年 度	区 分	総 数	感 染 症 法 に よ る も の					結 核 促 進 企 業 特 別
			患 者 家 族 検 診	接 触 者 検 診	特 定 従 事 者 検 診	管 理 検 診	受 託 検 診	
18年度	直接撮影	2614	177	750	160	15	1457	55
	間接撮影	228	-	-	37	-	191	-
19年度	直接撮影	2285	165	411	77	31	1501	100
	間接撮影	194	-	-	30	-	164	-

※直接撮影はCR検診車分を含む

(2) 医療監視

診療用エックス線装置備付届により医療法に基づいて、医療監視指導を実施した。

医療監視実施件数（表10-2）

年度	総 数	診 療 所	歯科診療所	そ の 他
18年度	50	24	24	2
19年度	46	23	23	-

11 医療費助成

療育医療及び自立支援医療（育成医療）については申請受理、認定審査、支払事務を、大気汚染医療については申請受理、認定審査事務を、妊娠高血圧症候群等医療及び未熟児養育医療については、認定審査、支払事務を、特殊疾病、小児慢性疾患医療費助成等の経由事務については、申請受理、都への進達事務を行い、患者等に対する適切な医療の提供と経済的負担の軽減を図った。

疾 病 名		19年度 申請受理 件数	19年度 認定件数	
総 数		6,067	5,986	
妊娠高血圧症候群等医療		10	10	
未熟児養育医療		156	156	
自立支援医療（育成医療）		136	136	
療育医療		0	0	
小児慢性疾患	神経・筋疾患	34	34	
	慢性心疾患	101	99	
	膠原病	10	10	
	慢性腎疾患	52	52	
	内分泌疾患	100	98	
	糖尿病	24	24	
	先天性代謝異常	15	15	
	慢性血液疾患	17	16	
	悪性新生物	58	57	
	呼吸器疾患	11	11	
	消化器疾患	12	12	
	小児慢性疾患合計		434	428
特 殊 疾 病	神経系	多発性硬化症	68	67
		重症筋無力症	56	56
		スモン	6	6
		筋萎縮性側索硬化症	23	23
		脊髄小脳変性症	96	96
		パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症パーキンソン病）	372	368
		アミロイドーシス	2	2
		後縦靭帯骨化症	121	111
		ハンチントン病	1	1
		モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症）	33	33
		多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレガー症候群）	54	54
		広範脊柱管狭窄症	28	28
		プリオン病	2	2
		神経線維腫症	15	13
		亜急性硬化性全脳炎	1	1
ライソゾーム病（ファブリー病含む）	2	2		

	副腎白質	1	1
	進行性筋ジストロフィー	8	8
	脊髄性筋萎縮症	2	2
	脊髄空洞症	7	7
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	18	18
	母斑症	6	6
	ミオトニー症候群	11	11
	ミトコンドリア脳筋症	3	3
	遺伝性（本態性）ニューロパチー	2	2
	先天性ミオパチー	3	3
	神経系合計	941	924
膠原病	ベーチェット病	71	70
	全身性エリテマトーデス	212	212
	サルコイドーシス	59	57
	強皮症	73	73
	皮膚筋炎・多発性筋炎 <i>DM・PM</i>	56	55
	結節性動脈周囲炎	22	22
	高安病（大動脈炎症候群）	20	20
	悪性関節リウマチ	16	16
	ウェゲナー肉芽腫症	28	27
	特発性大腿骨頭壊死症	44	44
	混合性結合組織病	45	45
	シェーグレン 症候群	69	58
	特発性好酸球增多症候群	0	0
	アレルギー性肉芽腫性血管炎	4	4
	強直性脊椎炎	11	11
	膠原病 合計	730	714
その他	再生不良性貧血	34	33
	特発性血小板減少性紫斑病	91	88
	潰瘍性大腸炎	479	472
	ビュルガー病	21	21
	天疱瘡	14	14
	クローン病	121	117
	劇症肝炎	1	0
	特発性拡張型心筋症	45	41
	表皮水疱症	1	1
	膿疱性乾癬	6	6
	原発性胆汁性肝硬変	75	74
	重症急性膵炎	7	6

	原発性免疫不全症候群	4	4
	特発性間質性肺炎	38	32
	網膜色素変性症	104	103
	原発性肺高血圧症	5	5
	バッド・キアリ症候群	0	0
	特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）	1	1
	ウィルソン病	3	3
	悪性高血圧	0	0
	骨髄線維症	2	2
	ネフローゼ症候群	57	51
	多発性嚢胞腎	16	15
	特発性門脈圧亢進症	4	4
	原発性硬化性胆管炎	3	3
	肝内結石症	6	5
	びまん性汎細気管支炎	7	6
	特発性肥大型心筋症（拡張相）	0	0
	遺伝性QT延長症候群	0	0
	成人スティル病	11	9
	網膜脈絡膜萎縮症	4	4
	自己免疫性肝炎	38	36
	先天性血液凝固因子欠乏症等	19	19
	人工透析を必要とする腎不全	988	988
	その他 合計	2,205	2,163
特殊疾病合計		3,876	3,801
ウイルス肝炎	B型ウイルス入院医療	26	26
	C型ウイルス入院医療	88	88
	C型インターフェロン治療	114	114
	ウイルス肝炎 合計	228	228
大気汚染医療	慢性気管支炎	0	0
	気管支ぜん息	1,227	1,227
	ぜん息性気管支炎	0	0
	肺気しゅ	0	0
	四種疾病の続発症	0	0
	大気汚染医療 合計	1,227	1,227

注1 特殊疾病及び小児慢性疾患の複数の疾患名の申請については、各1件として計上。

注2 特殊疾病の重症申請は件数に含まない。